

難病との付き合いは高校2年まで続き、一度は人生を諦めかけたときもありましたが、奇跡的に回復をし現在に至っております。

北村透谷は26年という短い人生の中で後世に残る仕事を残しました。私は4年の人生で未だ仕事らしい仕事もできず、ただもがいている昨今ですが、両親が残してくれた体に報いるためにも今後の人生を有意義に仕事を全うしたいと思っております。

(会報担当者：金子 謹也 委員)

◎ 1月6日出席報告

会 員	61名	出席率対象会員	59名
		出席規定免除会員	2名
当日出席	41名	当日欠席	18名
他クラブ出席	9名	出席合計	50名
出席率	84.75%		

・テレフォンサービス(例会移動案内)電話 23 - 2377 番

次回・2月7日  
プログラム

「世界理解月間」

国際奉仕委員会 森 秀樹 委員長



# 函館北ロータリークラブ会報

2000~2001年度 国際ロータリーテーマ

国際ロータリー会長 フランク J・デブリン

## 「CREATE AWARENESS-TAKE ACTION」

### 意識を喚起しー進んで行動を

松見 修二 会長テーマ 『クラブに新風と活力を』



1月31日卓話 坂上 修二氏

## 《第1811回例会》 第30号 2月7日(水)

### 本日のプログラム

#### 「新入会員卓話」

粟飯原 幸夫 会員

★会 長 松見修二 ★幹 事 大和 明

例会場:函館国際ホテル 〒040-0064 函館市大手町5-10 TEL23-5151  
例会日:毎週水曜日 12:30~13:30 事務局:函館市大手町5-10 二子ビル4F TEL23-3870

## 1月31日の記録

◎司 会 松見 修二 会長      ◎斉 唱 手に手つないで

◎ゲ ス ト 日本政策投資銀行函館事務所所長 坂上 修二 氏

◎ビ ジ タ ー 函館R.C. 川端久雄君・藤井正雄君・吉川正彦君、  
函館五稜郭R.C. 藤山 林 君・菅野良司君・當摩浩平君、  
七飯R.C. 葛西春夫君

◎会 長 報 告 松見 修二 会長

○1月27日に戸嶋ガバナー補佐主催の分区協議会が開かれました。

○ロータリー財団奨学生募集について

## ◎委員会報告

●国際奉仕委員会 森 秀樹 委員長

未使用テレカ、書き損じハガキの回収協力は一週間延長し2月7日迄と  
ます。

●職業奉仕委員会 小笠原 孝 委員長

健康診断は予定どおり2月7日午前11時30分より行います。

◎幹事報告 大和 明 幹事

○2月2日(金)函館五稜郭R.C. 5日(月)函館亀田R.C.はそれぞれ夜間例会に変更です。

○2月14日(水)の夜間例会のご案内を差し上げておりますが、返信を早めにお出し下さいますようお願い致します。

◎親睦活動委員会 高橋 哲二 委員

## ニコニコBOX投入報告

大和 幹事……BOXに協力。

田中 会員……本日の卓話ゲスト坂上所長をお迎えして。

小笠原会員……BOXに協力。

竹谷 会員……ごぶさたしております。

森 会員……BOXに協力。

松見 会長……受付ご苦労様です。

佐々木会員……BOXに協力。

二葉 会員……坂上所長をお迎えして。

千葉 会員……BOXに協力。

◎卓 話 「青函交流圏の現状と今後の発展方向」

日本政策投資銀行函館事務所所長 坂上 修二 氏

## 1. 青函地域の特性

津軽海峡を挟んで南北に位置する両市は、ツインシティの名のとおり気候や人口規模、産業構造など非常によく似た特性を持っている。

## ① 自然・地理的条件

青森・函館ともに夏季の平均気温が20℃前後と過ごしやすく、冬季は南に位置する青森が多少温暖であるものの、降雪量は函館の方が少ない。

## ② 経済特性

## ・人口

青森市は明治4年に弘前市から県庁が移され、明治31年に市制施行以来着実に発展をとげ、現在人口約29万7千人と名実ともに青森県の都である。

函館市は、幕末の開港より北海道の中心都市として発展、大正11年市制施行し、北洋漁業の隆盛とともに繁栄を極めたが、昭和58年の32万人をピークに減少に転じ、現在は約29万人。

## ・産業人口構成

両市の産業別就業者構造は各産業ともほぼ類似した傾向を持ち、特に3次産業人口は全体の3/4を超えている。

## ・工業出荷額

両市とも基幹産業は軽工業である。分野別では双方第1位は食料品で、かつ上位2業種が出荷額の大部分を構成しており、青森では食料品および出版・印刷・同関連が全体の約62%、函館では食料品および飲料・飼料・たばこが全体の約61%を占める。

## ・水産業

両地域共通の水産物としてはイカとホタテが挙げられる。

イカは、津軽海峡を挟んで青森では下北から八戸の太平洋側、道南は函館近海が主漁場であり、ホタテは青森は陸奥湾沿岸、道南は噴火湾(内湾)沿岸における養殖が盛んである。いずれも全国有数の産地となっている。

## ・農業

青森県全体でみると、全国収穫量の54%を占め、県最大の特産品であるリンゴのほか、長芋やにんにく等でも全国トップの生産を誇る。

道南地域は目立った特産品はないが芋類と野菜類が中心作物となっている。

## ③ 観光都市

青函圏は山岳、湖沼等自然系の観光資源と文化的・歴史的観光資源の双方に恵まれ、浅虫や湯の川といった温泉場が近在するなど共通点が多い。

青森市は、ねぶた祭りや平成9年に国史跡の指定を受けた三内丸山遺跡など全国的にも著名な観光資源を持つ。観光客入込数は、ねぶた祭りなどが天候に左右されやすいことから、過去5年間では約520から570万人の間で推移している。

函館市は、函館山からの夜景や五稜郭、洋風建造物群等の観光資源に加え、昭和62年頃よりウォーターフロント地区の観光整備が進められたことにより入込客数も飛躍的に伸び、平成11年には過去最高の530万人を記録するなど北海道観光の中心的存在となっている。

両市ともオン、オフシーズンの差が大きく、冬季の観光客獲得に課題を持つ。

## 2. 青函交流圏の今後の発展方向

## (1) 文化交流

- ① 青森の「ホタテ」「リンゴ」と函館の「イカ」「鮑」「昆布」
- ② 三内丸山遺跡と南茅部遺跡
- ③ 津軽三味線と江差追分
- ④ 青森「ねぶた祭り」と函館「五稜郭祭」

## (2) 観光振興

両地域連携による誘客対策

特に、函館・青森空港利用による東南アジア旅行客の取り組み

e x) ・観光資源としての「青函トンネル」

- ・三内丸山遺跡と南茅部遺跡
- ・「奥入瀬」「十和田」「岩木山」「函館」「大沼」
- ・食材としての「ホタテ」「イカ」「鮑」デザートとしての「リンゴ」
- ・青森「ねぶた祭り」と函館「五稜郭祭り」

(3) 新規事業の育成

①水産加工からバイオへ

- ・魚介類に多く含まれているEPA・DHA・タウリン
- ・北大水産学部、道立工業技術センターとの連携

②IT関連産業の育成

- ・「はこだて未来大学」「青森公立大学」の連携・活用

③サハリンとの経済交流での連携

(4) 今後の交流発展に向けての課題

①となりの青森と協力出来るものから実行へ……経営者の意識改革

②時間距離短縮に欠かせない新幹線の函館までの延長

などが挙げられると思います。

(会報担当者：二葉 進 委員)

◎ 1月17日出席報告

会 員	61名	出席率対象会員	59名
		出席規定免除会員	2名
当日出席	31名	当日欠席	26名
他クラブ出席	12名	出席合計	43名
出席率	72.88%		

・テレフォンサービス(例会移動案内)電話 23 - 2377 番

次回・2月14日  
プログラム

「夜間例会及び  
クラブアッセンブリー」

一乃松 午後6時30分～



# 函館北ロータリークラブ会報

2000~2001年度 国際ロータリーテーマ

国際ロータリー会長 フランク J・デブリン

## 「CREATE AWARENESS-TAKE ACTION」

意識を喚起しー進んで行動を

松見 修二 会長テーマ 『クラブに新風と活力を』



2月7日卓話 粟飯原 幸夫 会員

### 《第1812回例会》 第31号 2月14日(水)

#### 本日のプログラム

「夜間例会及びクラブアッセンブリー」

一乃松 午後6時30分～

★会 長 松見 修二      ★幹 事 大和 明